

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援事業所 たらこやキッズ	公表日	令和 7年 2月 27日
------	-------------------	-----	--------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	7		放デイの児童が朝から利用する日は、活動出来る場所が限られてしまう為、児童に窮屈な思いをさせてしまう。 仕切りがない為、プライバシーの観点から改善が必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2	状況に応じて、グループのバランスをみて職員を調整している。	特定の曜日について送迎車両やルートが上手くいかない時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		8	柱の角にクッション材を取り付けている。 ゲートを設置して飛び出し等がないように心掛けています。	障物の作りが古い為、足元の段差が多い。 柱が多く、ぶつかってケガをさせないように気をつけている。 床にマットを敷いているが、敷いているマットに置いてしまう児童がいる。 障がいの特性に対応できていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	6	壁紙については、季節感を出すように意識している。	細かく掃除を行う時間がない。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	6		個別の部屋がなく、廊下を使っている。 使用できる部屋に限りがある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	6	話し合いの場を設けている。	しっかりと話しをする時間がない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	5	アンケートの実施を行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	ミーティングを実施している。 職場の雰囲気は良く、話しやすい環境。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	アンケートの実施を行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		研修委員会があり、内部研修を実施している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	ホームページに公表している。	支援プログラムは作成されているが、気軽に見れない。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		定期的にモニタリングを実施している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	職員間で情報共有が図れている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	職員一人一人の意見をモニタリング表に落とし込み、支援内容の見直しを行っている。	計画について閲覧しやすいと良い。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	5		細かくは確認できていない。 長期的な支援ができていない。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	2	必要な項目を設けて、対策が行えている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	4	皆で意見を出せる状況で作られている。	もっと話し合う時間を確保してもらいたい。 特定の職員が中心となっている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	2	慢性化しないように考慮している。 児童が楽しめる活動内容を考えて実施している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		活動を通して、課題に向き合えるよう心掛けている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	6	状況に応じて役割を分担し、協力して実施している。	当日に念入りに打ち合わせを行うことは難しい。その日の流れで役割分担している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	5	当日のフィードバックは出来ていないが、情報共有は図れている。	その日に振り返りを行う時間がない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	5		細かな記録はとれていない。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1	モニタリングを実施する際、支援状況を踏まえて必要に応じて支援の見直しもしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		活動に参加している職員が、毎回同席するように心掛けている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	必要に応じてケース会議を開き、専門的な助言を基に支援内容を変更する場合もある。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	情報共有を意識しながら、関係機関と足並みを揃えるよう取り組んでいる。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		報連相を意識し、それを実行している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	6		児童発達支援センターとの連携が図れていない。センターの職員がわからない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	7		園へのイベントには参加しているが、地域への活動機会はあまりないので、今後検討していく必要がある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			送迎時やLINEのツールを使って、細かく情報の共有を図っている。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	保護者参加型のイベントを準備し、保護者に対してブログやSNSを使って周知している。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1	モニタリングや担当者会議の中で、必要な情報を把握し、それをプランに落とし込んでいる。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		保護者と日程調整を行い、説明・確認を行ったうえで、同意のサインをいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		送迎時やLINE、電話等で報告や相談が行えている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	2		保護者間での交流については、年に一回程度しかない。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		細目に話し合いを行い対処している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		定期的にブログの更新を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		書庫にて管理している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		配慮の質の向上を目指し、内部研修等を開催する機会を設け、定期的に職員のスキルアップを図っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		地域住民を招待したことはない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		定期的に避難訓練を実施し、それをブログに上げている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	契約時に食物アレルギーの有無確認は行っている。必要に応じて、対応することは可能である。	食物アレルギーの児童がいないため、よくわからない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		年間の研修スケジュールを作成しており、毎年虐待防止・権利擁護研修に参加している。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	3		現在、身体拘束しなければならない児童はいない。	